

川渡幼稚園の閉園に関する取り組み状況

川渡幼稚園の児童数は年々減少傾向にあります。幼稚園は同年代の幼児と集団活動を営む場ではありますが、少人数では集団生活の中で園児同士が刺激し合う教育環境が確保できなくなり、また、小学校へ入学した際、環境の変化になかなか馴染めず、児童が大きなストレスを抱えてしまうケースが見受けられます。教育委員会の考え方としては、1学級10人以下が続く幼稚園について、統合や休園、閉園を検討しています。

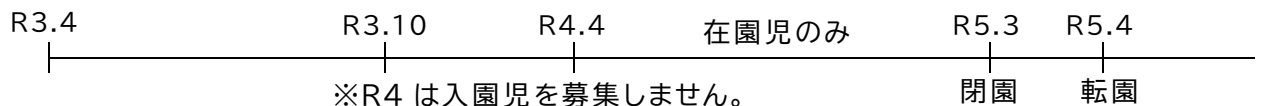
鳴子温泉地域の公立の幼稚園は川渡幼稚園のみであり、川渡幼稚園以外の子育て支援施設としては、私立の保育園、認定こども園が各1園といった状況であり、保護者の皆様とある程度の合意を得た年度での閉園を考えております。

そこで、教育委員会といたしましては、昨年度から保護者の皆様と話し合いを進め、令和3年7月には川渡幼稚園3・4歳児の保護者を対象に川渡幼稚園の閉園についてのアンケート調査を実施いたしました。

アンケートでは、コロナ禍の中で集団が大きくなることへの心配、子どもたちの人数が少なくなり、集団活動が困難になることへのご理解、これまでの川渡幼稚園の取り組みを評価いただくお言葉等を頂戴いたしました。アンケートの結果をもとに9月9日(木)に保護者の皆様と話し合いを行い、川渡幼稚園の閉園について概ねの合意をいただきました。

大崎市教育委員会といたしましては、アンケート調査の結果をもとに、新たな園児は募集せず、令和4年度末に閉園したいと考えております。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

【閉園までのイメージ】



なお、令和4年度の年中児につきましては、閉園後、保育園等に転園を希望する場合には、共働き等といった条件を満たさない場合でも、特例的に入園できるよう、今後、教育委員会と関係課で調整していく予定です。

1 取り組み状況

(1)令和2年度

令和2年 7月31日 保護者との意見交換会実施

令和3年 2月12日 保護者との意見交換会実施

(2)令和3年度

令和3年 5月28日 保護者との意見交換会実施

令和3年 7月 保護者アンケート実施

令和3年 9月 9日 保護者との意見交換会実施

閉園について了承

令和3年10月27日 川渡地区区長会 経過説明

令和3年11月18日 鳴子温泉地域まちづくり協議会理事会 経過説明

2 川渡幼稚園児童数の推移予測

年度	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計	前年比
平成 28 年度	6	7	10	23	－
平成 29 年度	4	7	7	18	▲5
平成 30 年度	5	4	8	17	▲1
令和元年度	2	5	4	11	▲6
令和 2 年度	2	2	5	9	▲2
令和 3 年度	1	3	2	6	▲3
増減計(5 年間)					▲17

鳴子温泉地域のどの子育て施設にも属していない川渡地区の児童が川渡幼稚園に入園したと仮定した予測推移

年度	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計	前年比
令和 4 年度	1	1	3	5	▲1
令和 5 年度	1	1	1	3	▲2
増減計(7 年間)					▲20

※アンケート結果を踏まえ、令和 5 年度の閉園を前提に令和 4 年度に入園児を募集しなかった場合の川渡幼稚園児童数の推移

年度	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計	前年比
平成 28 年度	6	7	10	23	－
平成 29 年度	4	7	7	18	▲5
平成 30 年度	5	4	8	17	▲1
令和元年度	2	5	4	11	▲6
令和 2 年度	2	2	5	9	▲2
令和 3 年度	1	3	2	6	▲3
令和 4 年度		1	3	4	▲2
令和 5 年度	閉園				
増減計(6 年間)					▲19